令和 6 年度実施状況調査報告書（スポーツ振興くじ助成）

■活動概要

助成団体	公益財団法人福岡県スポーツ振興センター
事業細目名	身体・運動能力特性に基づくタレント発掘・育成
事業名	福岡県タレント発掘事業
助成金額	8,000,000 円

令和 6 年度身体・運動能力特性に基づくタレント発掘・育成事業で福岡県スポーツ振興センターが行っている「福岡県タレント発掘事業」の実施状況について調査を行いました。

本事業は、小学 5 年生から中学 3 年生を対象に、各自の体力を知る機会・体を動かす機会の創出や、運動能力・適性を見いだし、専門的なプログラムを通してトップアスリートを育成していく取り組みです。プログラムは実技の他、コミュニケーションスキルや食育など座学も行われています。

約 20 年間の事業において修了生 473 名を輩出しており、東京オリンピックで初めて修了生 3 名が日本代表として出場し、パリオリンピックでは修了生 8 名が出場、うち 2 名がフェンシング女子サーブル団体で銅メダルを獲得しています。

調査当日は「言語プログラム」の座学を行っていました。事前に各自でテーマを決め、グループごとに発表するという流れのなかで、論理的思考、言語化能力などを学んでいました。

■助成の意義

本助成を活用することで、年間 40 回以上の育成プログラムを組むことができ、県内全域で 14 回の体力・運動能力などの測定会の実施、多くの競技団体によるオーディションやトライアウトの実施ができるようになったそうです。また、遠方からも専門性の高い指導者を招くことが可能になったとのことです。

■事業効果を高めるための取り組み

福岡県内全ての小学 4 年生から中学 1 年生にリーフレットを配布しており、関係機関及び施設にもリーフレット・ポスターを掲示し周知を図っているそうです。また、公式ホームページ・公式インスタグラムにて、日頃のプログラムの紹介や写真を掲載し、広報を行っているとのことです。

■所感

パリオリンピック後は、本事業への注目度が上がり、発掘プログラム受講者となるための選考会への参加者が増加しているそうですが、広報・周知活動は更に行っていきたいとのお話でした。

また調査当日のプログラムでは、ドーピングや体罰、スポーツの感動などの難しいテーマ設定の中で、事前課題やグループワークに積極的に取り組み、和やかな雰囲気の中でもしっかり学んでいる姿が見られました。

今後も、本事業のプログラムを通して子どもたちがステップアップし、世界に挑戦していくことを期待します。

（令和 6 年 12 月 14 日往査）

（写真）福岡県タレント発掘事業の様子	
	